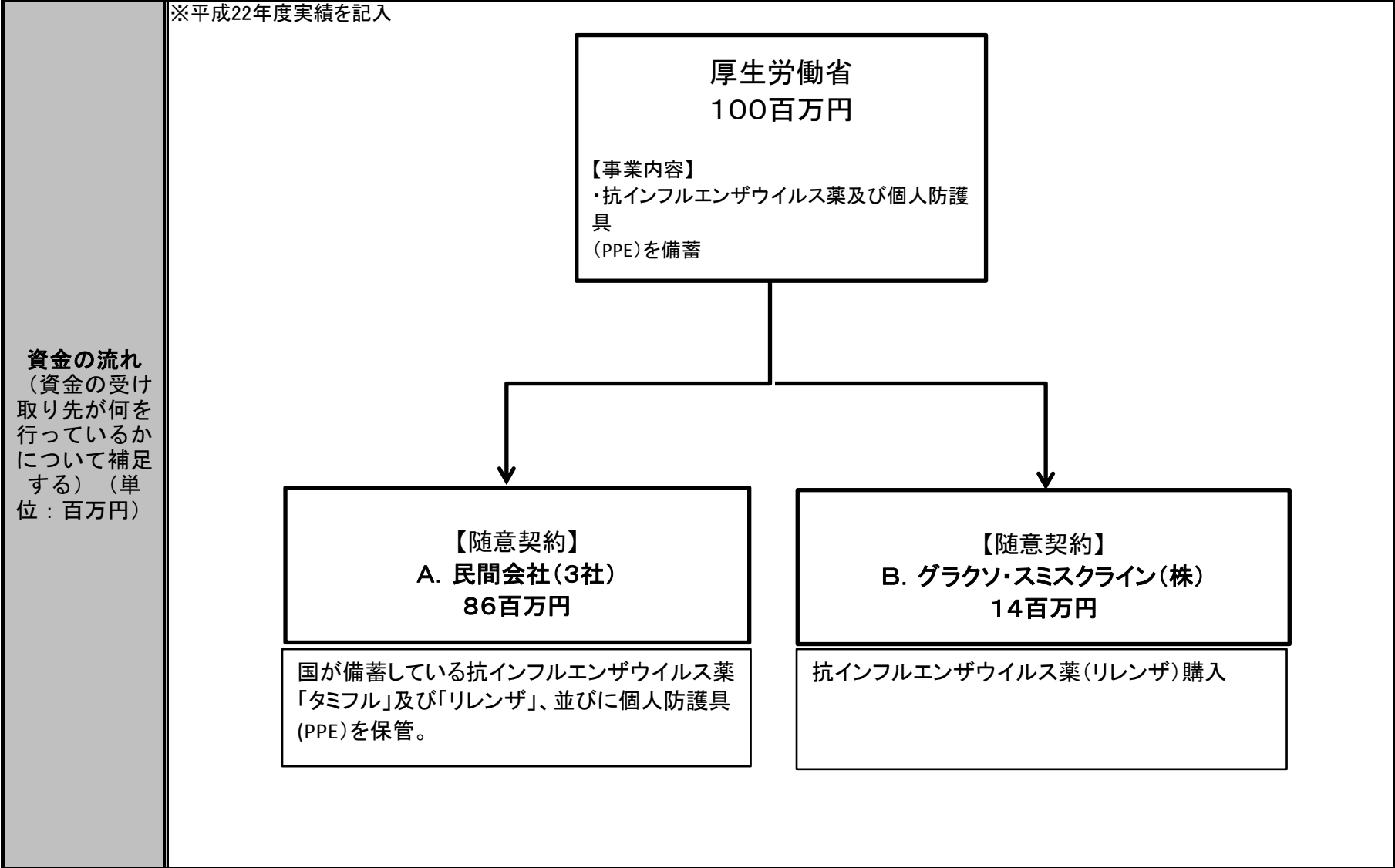


平成23年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		新型インフルエンザ対策費		担当部局庁		健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成20年度		担当課室		結核感染症課		結核感染症課 正林 督章		
会計区分		一般会計		施策名		Ⅳ－３－４ 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 （具体的な条項も記載）		—		関係する計画、通知等		・「新型インフルエンザ対策行動計画」（平成21年2月：新型インフルエンザ及び鳥インフルエンザに関する関係省庁対策会議） ・「新型インフルエンザ対策ガイドライン」（平成21年2月：新型インフルエンザ及び鳥インフルエンザに関する関係省庁対策会議）				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		・抗インフルエンザウイルス薬については、「新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、「諸外国における備蓄状況や最新の医学的な知見等を踏まえ、国民の45%に相当する量を目標として、備蓄を推進する。」とされており、備蓄を進めている。また、新型インフルエンザ発生時に患者の診療ケアのために、高感染リスクにさらされる医療従事者への診療体制の維持を目的に個人防護具（PPE）を備蓄し、対策を講じている。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		【医薬品等保管料】 ・国が備蓄している抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」3,000万人分及び「リレンザ」300万人分の保管及び個人防護具（PPE）の保管に関する経費 【医薬品買上費】 ・最新の医学的知見、諸外国における抗インフルエンザウイルス薬の備蓄状況を踏まえ、備蓄を進めている。 ・新型インフルエンザ発生時に患者の診療ケアのために、高感染リスクにさらされる医療従事者への診療体制の維持を目的に個人防護具（PPE）を備蓄し、対策を講じている。								
実施方法		■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 （単位：百万円）				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算の状況	当初予算	83	160	150	97	7,387		
			補正予算	38,574						
			繰越し等	▲ 23,135	23,076					
			計	15,522	23,236	150	97	7,387		
		執行額		15,522	23,133	100				
		執行率（％）		100	100	67				
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 （年度）
		国民の45％分に相当する抗インフルエンザウイルス薬を備蓄する。 （タミフル2,680万人分、リレンザ268万人分）			成果実績	万人分	タミフル500 リレンザ133	タミフル1,150 リレンザ32	リレンザ1 21年度使用分の補充	タミフル2,680 リレンザ268
					達成度	％	タミフル69% リレンザ100%	タミフル112% リレンザ112%	タミフル112% リレンザ112%	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		・抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」、「リレンザ」を保管 ・個人防護具（PPE）を保管			活動実績 （当初見込み）	万人分	抗インフル薬 2118 PPE12 （抗インフル薬 1485 PPE12）	抗インフル薬 3300 PPE12 （抗インフル薬 2948 PPE12）	抗インフル薬 3300 PPE12 （抗インフル薬 3300 PPE12）	— （抗インフル薬 3300 PPE12）
単位当たりコスト		タミフル購入 2,144円／人分 リレンザ購入 2,823円／人分 抗インフルエンウイルス薬保管料(22年度実績) 1.96円／人分／年 個人防護具保管料 182円／人分／年			算出根拠	タミフル購入 総購入費用(円)／総購入量(人分) 64,313,752千円／30,000千人分 リレンザ購入 総購入費用(円)／総購入量(人分) 8,467,919千円／3,000千人分 抗インフルエンザウイルス薬保管料 年間保管料(円)／保管量(人分) 64,741千円／33,000千人分 個人防護具保管料 年間保管料(円)／保管量(人分) 21,856千円／120千人分				
平成23・24年度予算内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	医薬品等保管料		97	99.1	プレパンデミックワクチンの保管料 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄 プレパンデミックワクチンの製剤化等					
	医薬品買上費		0	6796.3						
	医薬品審査等業務庁費		0	491.1						
計		97	7386.5							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	保管契約については予算決算及び会計令第九十九条第一号により随意契約とした。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	購入契約については会計法第二十九条の三第四項により随意契約とした。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		・新型インフルエンザの発生時に、全国の患者の発生状況等を把握し、抗インフルエンザウイルス薬が不足した場合には、国が備蓄している抗インフルエンザウイルス薬を都道府県を通じて放出し、適切な治療ができるようにするため、今後も引き続き適切に備蓄を進める必要がある。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		新型インフルエンザ対策行動計画を踏まえ、新型インフルエンザの流行状況及び抗インフルエンザウイルス薬の備蓄状況等を勘案しながら、適切な予算措置を行うこと。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.(株)A社			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
医薬品等保管料	抗インフルエンザウイルス薬保管料	52			
計		52	計		0
B.グラクソ・スミスクライン(株)			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
医薬品買上費	抗インフルエンザウイルス薬(リレンザ)購入費	14			
計		14	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位3者リスト
A.抗インフルエンザウイルス薬及び个人防护具の保管

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)A社	抗インフルエンザウイルス薬の保管	52	随意契約	
2	(株)B社	个人防护具(PPE)の保管	22	随意契約	
3	(株)C社	抗インフルエンザウイルス薬の保管	12	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.抗インフルエンザウイルス薬購入

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	グラクソ・スミスクライン(株)	抗インフルエンザウイルス薬(リレンザ)の購入	14	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					